

中学生の一人一役運動、民泊…… 市民のまごころで成功

「あつき血の燃える思いを今ここに」
第三十四回秋田県中学校総合体育大会が、七月二十六日から三日間当市を主会場に開かれ、熱い戦いを繰り広げました。今大会は、史上初めて県都秋田市を離れて開かれた意義ある大会で、全県から一万人を超す選手、役員、応援団が来市しました。二十六日、長根山陸上競技場で総合開会式が行われた後、早速十二会場に分れて競技を開始。選手たちは、連日三〇度を超す猛暑の中で体調を整えながら記録に挑みました。特に大館勢は、地元開催とあって大応援団の支援をうけてハッスルし、水泳や陸上競技、軟式庭球などに大活躍しました。また当市の中学生たちによる一人一役運動や民泊家庭、町内会など市民あげてのまごころのこもった歓迎に、来市した選手、役員などからはたいへん喜ばれ、三日間にわたる中学生のスポーツの祭典の幕を閉じました。暑い中、市民の皆さんのご協力ありがとうございました。



炎天下に燃える若い力

中の菊地富子さんが「正々堂々
友情の輪を広げること誓い
と力強く宣誓。



▲東中生430人による和太鼓演奏で
来市した選手団を歓迎しました。



陸上競技場)



▲柔道 (城南小)



▲新体操 (桂高校)



▲サッカー (鳳鳴高校)

お礼

第三十四回全県中学校総合体育大会の初めての地方大会を当市が引き受けまして、期待と不安が同居する中にも大会はスムーズに進み、これといった事故もなく盛會裡に終えることができました。市民の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

初めての地方大会だけに、その成否が全県から注目されていましたが、結果は高く評価されました。大館の「まごころ、ふれあい、友情」の中総体は、中学生や市民に深い感動と勇気と自信を与えてくれました。このことはこれからの行事などにも大きな刺激となり、活性化へのエネルギー源は十分にあるということが証明されたものだと思います。

最後に、今大会にご尽力くださった中学生の皆さん、民泊を引き受けてくださいましたご家庭の皆さん、さらに応援などにご協力いただきました市民の皆さん、そして実行委員の皆さん方に厚くお礼申し上げます。

大館市長 畠山健治郎



「まごころのこもったもてなしをうけて、」